

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	演芸
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきしゃだんほうじん にほんきじゅつぎょうかい					
	制作団体名	公益社団法人 日本奇術協会					
	代表者職・氏名	会長 正木慎一			団体ウェブサイトURL		
					https://www.jpma.net/		
	制作団体所在地	〒	169-0073	最寄駅(バス停)	JR総武線 大久保駅		
		東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム新宿渡辺ビル402					
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です					
	ふりがな						
	公演団体名						
	代表者職・氏名				団体ウェブサイトURL		
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)			
	制作団体 設立年月	1936年12月					
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等			
		会長: 正木慎一 副会長: 小林 昭 常任幹事: 加藤明彦 理事: 後藤尚美・渡邊奈月・北野隆義 中 崇・高岡若葉・土井宗雄 常任幹事: 松下敏雄・佐藤元一 近藤哲司		【正会員】この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 【準会員】この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 【賛助会員】この法人の事業を援助する個人または法人。 【名誉会員】この法人に特に功労のあった者、学識経験者で総会の決議をもって推薦された者。			
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名		小林 昭		
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者		伊藤利一		
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号		
		yokota@dm-c.jp			09026344947		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和11年12月 目黒雅叙園にて「第1回集会」 ●平成2年 12月3日を「奇術の日」と制定する。 ●平成5年3月 公益法人許可を得て「社団法人 日本奇術協会」となる。 ●平成9年5月 「和妻」が記録作成の措置を講ず ●平成20年度 12月1日～3日の三日間「奇術の日 ●平成24年 内閣府より「公益社団法人」の認定を受ける。 <p>べき無形文化財として採択される。</p> <p>普及活動」を実施。</p>
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年度 【本物の舞台芸術体験事業】Bブロック ●平成22年度 【子どものための優れた舞台芸術体験】Dブロック ●平成23年度 【次代を担う子どもの文化芸術体験事業】Iブロック ●平成24年度 【次代を担う子どもの文化芸術体験事業】Hブロック ●平成平成25年度 【次代を担う子どもの文化芸術体験事業】Eブロックに於いて「ベストマジックフェスティバル」公演を行う。 ●平成26年度 【文化芸術による子どもの体験事業】Jブロックに於いて「Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。 ●平成29年 【文化芸術による子どもの体験事業】Jブロックに於いて「Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。 ●平成30年度 【文化芸術による子供の育成事業】Cブロックに於いて「Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。 ●令和元年 【文化芸術による子供の育成総合事業】Gブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。 ●令和3年度 【文化芸術による子供育成総合事業】Aブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。 ●令和4年度 【文化芸術による子供育成推進事業】Cブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。
	特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年度 横須賀市立養護学校・静岡県立沼津聴覚支援学校 ●平成24年度 高知県立山田養護学校・愛媛県立みなら特別支援学校 ●平成25年度 福井県立嶺北養護学校・京都府立八幡支援学校・京都市立鳴滝総合支援学校 ●平成26年度 宮崎県立延岡しろやま支援学校 ●平成29年度 栃木県立足利中央特別支援学校 ●平成30年度 長崎県立桜ヶ丘特別支援学校 ●令和3年度 北海道余市養護学校しりべし学園分校 ●令和7年度 北海道鷹栖養護学校 ●北海道教育大学附属特別支援学校 ●北海道帯広養護学校 ●北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校 にて上演の実績があります。 ※学校巡回公演と同様に出演者個人で障害保健福祉センターや特別支援学校等でも演じている奇術師(マジシャン)もあり、公演は実施可能です。

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=tX6vXleiBuQ	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

一般区分・特別エリア区分共通

No.2(実演芸術)

別添

なし

【公演団体名

公益社団法人

日本奇術協会

】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	ベストマジックフェスティバル			
企画のねらい	最近では、YouTube等の普及により映像ではマジックを身近に鑑賞できる様になっております。たまにテレビで放送する番組もありますが、コインやカード(トランプ)等を使った小さな空間のマジックばかりです。実際に舞台やステージで本物の鳩や大掛かりなマジックを鑑賞する機会が殆どありません。特に都市部以外ではほぼ観る機会はありません。本事業を通して奇術(マジック)に限らず、本物の生の芸能・芸術に触れて児童・生徒が芸術を観る目を養い、さらにワークショップを通して人を引き付ける話術や芸の進め方、コミュニケーションのとりかた等を体験、実践することで単なるマジックの鑑賞を超えた教育の一環としての要素も取り入れ、さらに地方格差を無くしたいと思っております。			
演目概要・演目選択理由	上演するのは一般的に親しまれているマジック全般を大きくジャンル別に分類し、その中から抜粋した代表的な演目になります。これらの演目は学校の体育館や施設内の多目的ホールという限られた空間を劇場に仕立て、児童・生徒がマジックの持つ独自の「錯覚」「不思議」等を鑑賞・体験をし生の芸能・芸能に触れる喜びや楽しさを味わってもらう事を主目的としております。同時にマジックを成立させる為の道具やネタ・話術・構成・演出等、総合的な実演芸能に繋がるものです。※クローズアップマジック(テーブルマジック)やメンタルマジックは鑑賞する人数が限られるため、当該公演の計画では演目に含まれておりません。			
児童・生徒の参加または体験の形態	●上演する演目においてワークショップでの講習内容で習得したマジックをを児童・生徒代表に演じてもらいます。その際内容を確実に習得させ必ず成功して拍手喝采となる様導きます。 ●「おしゃべりマジック」において出演者が積極的に観客と積極的に会話を交わす事により交流を深めます。 ●各出演者共トークのある場面では積極的に会話し交流を深めます。 ●「司会者」は一方的なトークにならず、児童・生徒と対話しつつ公演を進行させていきます。 ●児童・生徒代表による演技以外に全員参加型のプログラムを構成する事も可能です。(その場合には事前に用意していただく用品が必要となる場合があります)			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	6名～8名
			鑑賞人数目安	全校児童・生徒を対象としてます。500名以
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	①【鳩のマジック】オープニングを飾るにふさわしい鳩が出現する華やかなマジックです。 ②【ジェネラルマジック】最もポピュラーでマジックの中でも技術を主体とした本格的な演技の神髄を鑑賞してもらいます。 ③【おしゃべりマジック】絶妙な話術で観客を巻き込む笑いを交えた明るく楽しいマジックです。 ④【児童・生徒による演技】ワークショップで習得したものを児童・生徒代表が実演。マジシャンとして演じる喜び、楽しさ、 演じている方達も応援する嬉しい体験してもらいます			
	公演時間	60～90	分	
出演者	①【鳩のマジックとジェネラルマジック】1名:横田菊枝 ②【おしゃべりマジック】1名:ブラックサタン 【和妻】1～2名:きょうこ・キタノ大地 リεύジョン】2～3名:ドルフィンマジックカンパニー 会】:横田菊枝・ブラックサタン(演者と司会兼任) ⑥【スタッフ】合同会社スタジオポリゴン井上研二/(株)アートクリエーション堀井基宏以上の出演者・スタッフは令和7年度の当該事業の参加リストです。 <div>③ ④【イ ⑤【司</div>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	【キタノ大地】舞台:「国立演芸場/国立文楽劇場/角座/大阪天満天神繁昌亭」テレビ:NHK「上方演芸ホール」/NHK「わろてんか」(手品師役で出演)/関西テレビ/読売テレビ/KBS京都「夢・元気人」レギュラー出演(2019年)等、指導/監修:NHK「わろてんか」(マジック指導・監修)/テレビ東京:「石川五右衛門」(マジック指導・監修)/宝塚歌劇団:マジック指導・監修。 【きょうこ】(公社)日本奇術協会「Best magician's festival」では3年連続、マジシャンズオブザイヤー第1位受賞。世界タイトルも数多く近年ではドイツ・モンテカルロ・フランス・ハリウッドなどのゲスト出演。 【ドルフィンマジックカンパニー】 な演出と構成で「ミュージカル」「ファッションショー」「ヘアーショー」等も手掛ける傍ら、オリジナル大型イリュージョンの製作発表をし続けている。 斬新			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 4 名 スタッフ: 2 名 合 計: 6 名		運搬	積載量: 1 t 車 長: 4.7 m 台 数: 2 台

一般区分・特別エリア区分共通				
No.3-①(実演芸術)				
別添		なし		
【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会 】				
ワークショップの内容	ワークショップのねらい	マジック(奇術.手品)の不思議さを楽しんでもらうには、実際にマジックを鑑賞する事が大切です。児童・生徒に配布した教材テキストには、代表的なマジックの原理がいくつか表記されています。原理や基礎知識を学び、自己表現力や演出・構成力・コミュニケーション能力を養ってもらう事を意図としております。 ※実際には、令和元年においては保健室登校の児童がマジックに興味を持ちワークショップを通して他の児童とコミュニケーションが取れるようになった事例がございます。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	同日に行いますので、参加は1クラス程度の人数に
	ワークショップ実施形態及び内容	【A】マジックの理論編：奇術の基本原理より、代表的な7種類のマジックの原理を実演を交えて解説します。 ①「指先を使ったマジック」=仕掛けの無い道具で、指先の技術のみで行うマジックの実演・解説。 ②「道具に仕掛けがある」=道具自体に仕掛けがあるマジックの実演・解説。 ③「秘密のタネを使う」=仕掛けのない物に秘密のタネ(ギミック)を使って行うマジックの実演・解説。 ④「目の錯覚を利用する」=錯覚を利用した図形の道具を児童・生徒と一緒に目の前で起こる現象を体験します。 ⑤「理科の原理を利用する」=水をジュースに変える等、科学(化学)の原理を使ったマジックの実演。 ⑥「算数の原理を利用する」=数字を当てるマジック等、児童・生徒と一緒に実演。 ⑦「相手の注意をそらす」=いかに観客の目をそらすかの演技(ミスディレクション)の解説と実演。 ※以上のマジックは学校で学ぶ勉強が原理に繋がっている事を感じてもらいます。 【B】マジックの歴史編：最古のマジックから現代のマジック(奇術)までの歴史を実演を交えて解説します。 【C】実技編：教材を使いマジックを体験・習得してもらいます。] ※本公演と同日に行います。全校児童・生徒ではなく、1つの教室で行いますので、参加人数に制限を設ける事があります(学校と要相談)1時限目＝【A】と【B】を実施。 2時限目＝【C】を実施いたします。※学校からの要望があれば、時間の短縮も可能です。 その場合は上記の内容から抜粋して時間内に納めます。 ※学校からの要望があれば、時間の短縮も可能です。 その場合は上記の内容から抜粋して時間内に納めます。		
その他ワークショップに関する特記事項等	●基本、全校児童・生徒を対象にしています。令和元年度に於いては保健室登校の児童がマジックに興味を持ち、ワークショップを通して他の児童とコミュニケーションが取れる様になった事例があります。 ●ワークショップに於いてマジックの歴史や原理を知っていただき、国語、理科、算数、社会、体育と学校での科目がマジックといかに結びついているか。すべての教科が基本になっている勉強の大切さを知っていただきます。 ●近年ではコロナウイルスの影響で参加出来ない学年やクラスにはZOOM等を使いリモートで指導しました。 今後も状況によりリモートで行う事も可能です。その際は事前に通信の準備をお願いいたします。			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会 】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。 ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。 ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。 ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。 上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。 任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。 詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。 なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。
-------	--

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。									
会場の設置階の制限			2F以上応相談			主幹引き込み電源容量			30 A以上	
舞台設置面積			間口	7.2 m			奥行	4.5 m		
			高さ	4 m						
舞台設置場所			フロア対応	条件が合えば可			学校のステージでの対応		可	
搬入間口の広さ			幅	1.8 m			高さ	1.8 m		
遮光の要否			5割程度必要			緞帳の要否			有無のみ確認したい	
ピアノの使用について			使用しない			ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
						ピアノを使用しない場合の移動の要否			要	
搬入車両(トラック等)の横づけ			応相談			トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m以内	
搬入車両の種類			ハイエース			台数	2 台			
搬入車両の大きさ			車幅	1.88 m			車長	5.38 m		
備考										

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。					
	会場図面の提出要否		要				
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		搬入間口の要望に満たない、また運搬車付けが10m以上になる場合は写真等を希望します。				

時間外対応

(任意)

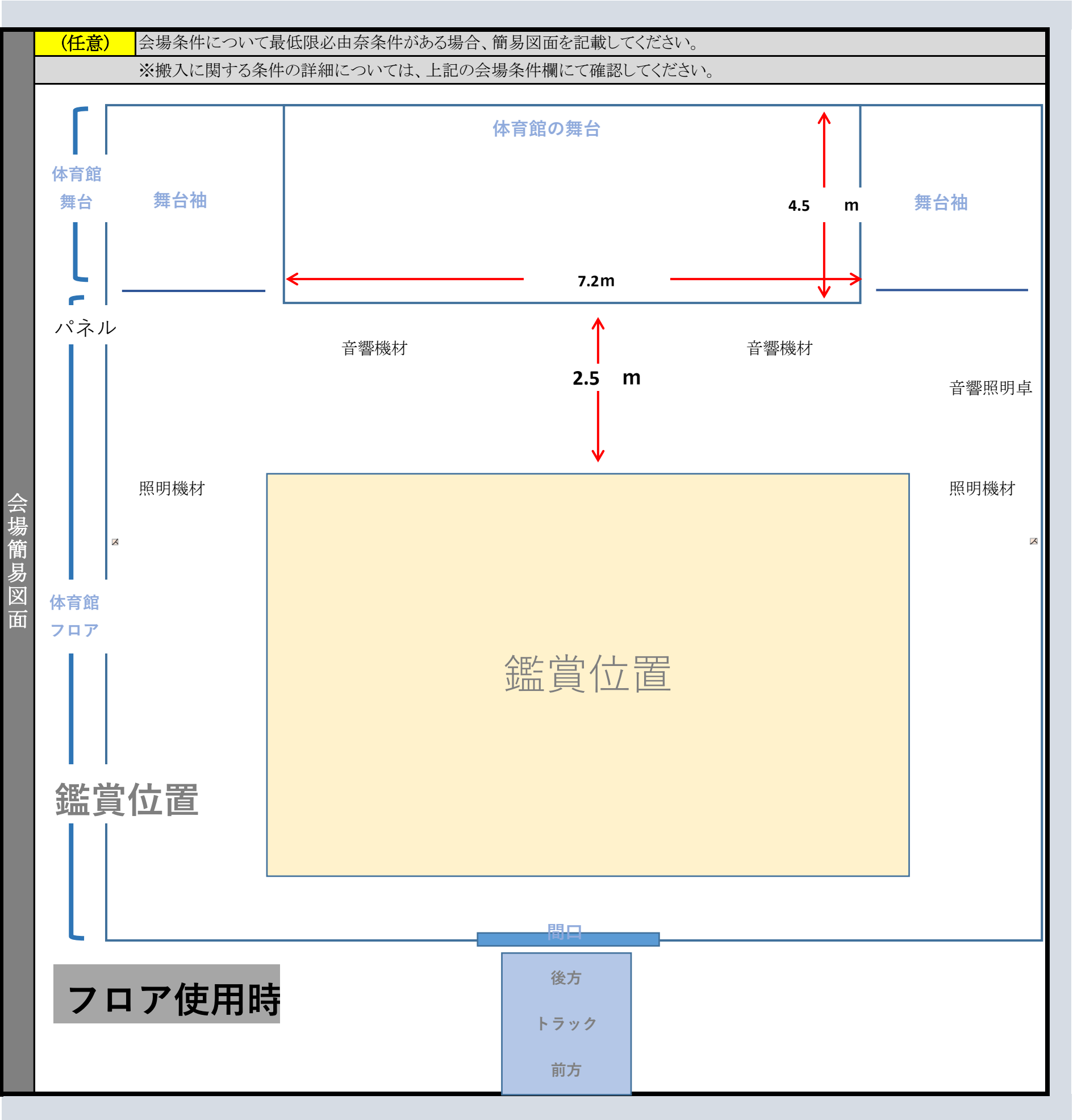
万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。

なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。

※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。

	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	45分	1時限目～2時限目を希望します。学校と要相談。	マジックの歴史、原理、実技。学校の科目授業と芸術鑑賞の関係性をワークショップを通して体験・鑑賞。	
ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	30分～45分	1時限目～2時限目を希望します。学校と要相談。	出演児童・生徒の披露する手品の伝授。	演じるマジックをより効果的に見せられるよう指導します。
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	児童・生徒時間:15分～20分程度。	本公演中の15分～20分程度。	代表児童・生徒の時間を含む。	出演児童・生徒はマジック道具を忘れずに持参し会場に入ってください。
本公演	鑑賞対象となる児童・生徒全員	演者時間:60分程度。児童・生徒時間:15分～20分	全体で90分公演。60分の短縮バージョンも可能。	代表児童・生徒の時間を含む。	

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。				
		個別ヒアリング事項				
	1	【ワークショップでお借りしたい備品】プロジェクター・スクリーン・長テーブル1台・椅子3脚・ドラムコード2台・ピンマイクセット1台・ワイアレスマイク1本・マイクスタンド1本(音響設備は使用できるでしょうか) 【本公演でお借りしたい備品】長テーブル7台・椅子5脚・パーティション2台・ドラムコード3台・ワイアレスマイク2本・ピンマイクセット1台・マイクスタンド2本				
	2	緞帳がある場合スムーズに動くかどうか検証いただき結果をお知らせください。				
	3	当日、体育館舞台脇(物置場・倉庫)を演者機材を設置したりと舞台袖として使用します。 中の機材を体育館脇などに出していただきお掃除を事前にお問い合わせ致します。				



別添	なし
----	----

【公演団体名

公益社団法人 日本奇術協会

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	<div>【本事業を通じて実現したいこと】</div> <p>現代では「奇術」という言葉を知っている子供たちはほとんどいません。子供たちだけでなく、若い世代の大人でも認知度は低いと思われます。ましてや「奇術＝マジック」と結びつけて理解している人はさらに少ないでしょう。一般的には「手品＝マジック」という認識が広く浸透しています。</p> <p>また、日本古来の伝統芸能である「和妻(わづま)」を知る人も非常に限られています。</p> <p>本事業では、各ジャンルにテーマを持たせたマジック公演を通じて、マジックの魅力や奥深さを広く伝え、舞台芸術としての価値を体験していただきます。特に、普段舞台芸術に触れる機会の少ない地方の子供たちに鑑賞・体験の場を提供することで、新たな鑑賞者(マジックファン等)の育成を目指し、地域格差の是正に貢献したいと考えています。</p> <p>また、児童・生徒がマジックを通じて、将来社会に出た際に円滑なコミュニケーションを図れるようになることも期待しています。</p> <p>演者にとっても、新人・ベテラン・他流派のマジシャン同士の交流が生まれ、普段学ぶ機会の少ない技芸やアプローチに直接触れることで、マジックの奥深さを再認識する貴重な機会となります。</p> <p>さらに、本事業で推進する多様な演目と演出方法は、奇術文化(伝統芸能)の継承にもつながる重要な取り組みです。</p>
	<div>【上記の実現に向けて、実施の工夫】</div> <p>当協会では、本事業を会員全員の協力のもとで推進しています。単なるマジック公演にとどまらず、児童・生徒が舞台に立つまでの過程を教育の一環と位置づけ、事前のワークショップでは、技術指導に加え、学校での学びが舞台に活かされることを伝えています。</p> <p>公演は演者だけでなく、照明・音響・設営・広報など多くの人の支えによって成り立ちます。子供たちには「みんなの力で公演が完成する」ことを実感してもらい、感謝や絆の大切さを学ぶ機会としています。</p> <p>舞台に立つ緊張や挑戦を乗り越え、仲間や地域の応援を受けることで、人とのつながりの尊さを体感します。こうした取り組みは、芸術体験を超えて、子供たちの心の成長と社会性の育成につながる意義ある活動です。</p>
事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	<div>【学校との連絡調整について】</div> <p>学校との綿密な事前連絡を心掛けております。</p> <p>公演の実施に当たり、計画書以外に大まかな公演開催の流れを書いた事前指導要綱(ワークショップや本公演の流れを映像にしたDVD等)をお渡しして、それをもとに電話やメール・FAXを使って入念な案内をさせていただきます。出来るだけ学校に負担の内容、意向を組めるよう進めております。</p>
	<div>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</div> <p>学校との連絡をより密にして、変化に富んだプログラム編成に努力して公演の成果を高めていきたいと考えております。5つのカテゴリーごとのプログラムの変化だけでなく、全体を通して観た場合の流れの変化・構成・演出の妙も出せるように工夫しております。これらの工夫が児童生徒達の興味を呼び起こすように創意工夫に富んだプログラムの構成にしたいと考えております。</p> <p>全校児童対象と考えておりますのでワークショップを行う際に低学年と・高学年をペアにしたり、もしくは縦割り班んで実施しに温度差が出ないように工夫をしています。</p>
	<div>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</div> <p>本公演を鑑賞・体験してワークショップで学んだマジック(奇術)の原理は、学校での勉強が基本になっていることを改めて感じていただきます。マジックに関わらず社会に出た時には、すべて今現在の教科が基本という事を感じてしっかりと基礎を学んでいただきたいと思います。また、各学校の児童・生徒の関係者が新たな課題やテーマをもって発展的にマジックの公演の継続に繋がると考えております。</p>

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会 】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績	<ul style="list-style-type: none">●平成26年度 沖永良部和泊町立大城小学校・種子島南種子町立莚南小学校 南種子島町立大川小学校●平成30年度 壱岐市立鯨状小学校●令和元年度 岩国市立清流小学校・下関市立角島小学校 に於いて 夢と希望の創造空間「Magic of MAGIC-Compilation-」を公演。
②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫	<p>【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】</p> <ul style="list-style-type: none">●小規模の体育館やフロアではパーティションや当協会のスパイダー等、を使い舞台袖を作りステージ周りの環境を作ります。●先生と児童・生徒と一緒にテキスト教材を使いマジックを体験する事ができます。●学校の要望により公演時間を調整する事が出来ます。 <p>【質を保つための工夫】</p> <p>一般区分より演者・スタッフの参加人数は少ないですが出演者はオールマイティーな実力を持っており、どのジャンルにも適応出来るプロです。照明等もコンパクトにはなりますが、決して引けを取らない内容をお届けいたします。</p>
③特別エリア区分応募における、費用面の工夫	<ul style="list-style-type: none">●鳩のマジックとイリュージョンを同じ演者が行う事や、鳩のマジックとジェネラルマジックをおマジ演者が行う事でコストを削減いたします。●1人のスタッフが音響照明を操作をする事により経費を削減いたします。搬入・搬出をスタッフ、演者全員で行います。（一般区分より演者、スタッフを減らした事により搬入・搬出等に10分程度の遅れが出る場合があります） 【注意配慮】上演にあたり、児童・生徒が演目及び設営、撤収時の作業については安全を確保します。※事前に学校担当者と入念な打ち合わせを行い相互に周知徹底をします。●上演中の火災発生については、学校で決められている火災対応マニュアルを遵守し児童・生徒及び関係者の安全を確保するものとする。●日程調整については、台風や自然災害、ウイルス感染等々によりやむを得ずの日程変更にも柔軟に対応いたします。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会 】
<p>項目内容 : 演者・スタッフ全員で搬入搬出をします。音響照明の周りをカラーコーン等で囲みます。</p>	<div data-bbox="703 379 1495 973"></div> <div data-bbox="703 1045 1514 1656"></div> <div data-bbox="707 1722 1514 2324"></div>